

わくわくドキドキならはらテクテク

2026. 3. 30 N030 ならはらの森なかの学舎



なら原っ子「あれ？また貝の写真があるぞ。今日は、どんなお話かな。」

モンタ博士「今日はね、巻貝について一緒にお勉強しましょう。」

なら原っ子「巻貝ってというのは、巻いているからなんでしょうね。モンタ博士！」

モンタ博士「ピンポン。そのとおりだね。ところで、巻貝というのは、ほとんどが右巻きであるということを知っていたかな。」

なら原っ子「へえー。そんなんですか。初めて知りました。」

モンタ博士「それからね、貝には二枚貝もあるけどね、約80パーセントは、巻貝なんだよ。つまり、海にいる貝のほとんどは巻貝ということなんだよ。」

なら原っ子「巻貝というのも、人間が食べたりするんですか。」

モンタ博士「もちろんだよ。巻貝で食べるものでは、サザエ・ツボガイ・バイガイ・バカガイなんていう名前の貝もあるんだよ。」

なら原っ子「へえー。そうなんだ。でも、巻貝って海に行かないと見えないんでしょ。」

モンタ博士「そうでもないんだよ。大きな魚屋さんやスーパーでも、いろいろな貝を売っているから、今度見てごらん。それかね、アワビとかトコブシなども、巻貝の仲間なんだよ。それでは、いろいろな巻貝の写真を見てみよう！」



なら原っ子「うわあー。いろいろな巻貝がいっぱいですね。」

モンタ博士「そうだろ。巻貝というのはね、それはそれは、たくさんの種類がいてね、
浅い砂浜から岩場、浅い海から深い海までいろいろな環境で、生活している
んだよ。」

なら原っ子「そうなんですか。巻貝は、どんなものを食べているのですか。」

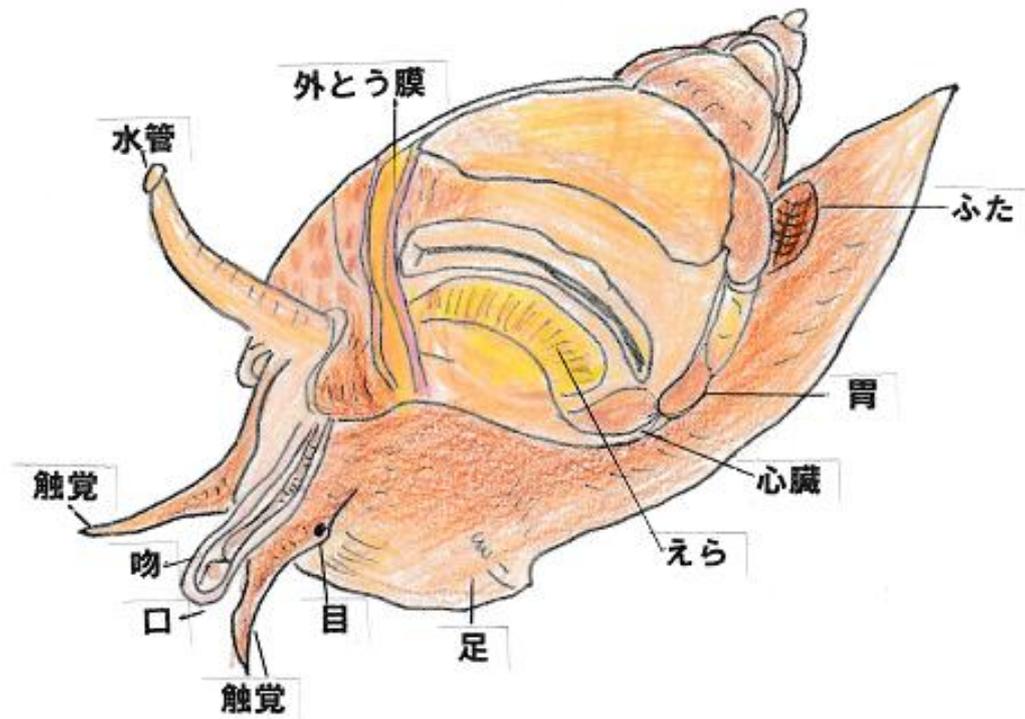
モンタ博士「これまたいい質問だね。ワカメやコンブなどの藻の仲間を食べる草食性もい
るし、他の貝や魚まで食べてしまう肉食性、それから死骸などを食べる雑食
性と、いろいろいるんだよ。」

なら原っ子「つまり、いろいろな環境にいるということですね。それから、巻貝って、ど
んな体をしている貝なんですか。」

モンタ博士「右巻きに巻いているのがほとんどなんだ。口と目と触覚がある頭もあって、
口の先には、いろいろな食べ物をすり下ろすための、ヤスリのような歯舌(し
ぜつ) というものがあるんだよ。」

なら原っ子「なるほど、巻貝はどうやって動いているのですか。」

モンタ博士「それはね、次ページにあるイラストを見ながら、説明してあげよう。」



なら原っ子「このイラストも、モンタ博士がかいたのですか。」

モンタ博士「あまり上手でなくてごめんね。巻貝はね、二枚貝とちがって目と触覚もあり、
周りを確認しながら、お腹にある広くて平らで筋肉質の足で這いまわるんだ
よ。」

なら原っ子「歩き回るのは得意なんですね。」

モンタ博士「そうだよ。体じゅうの表面にある粘液の細胞からねばっこい液を出して、な
めらかに動いたりはったりできるんだ。」

なら原っ子「つまり、『動きファースト』な貝なんですね。」

なら原っ子「でも、らせんに巻いた貝殻は、けっこう重そうで、大変ですね。」

モンタ博士「でも、考えてみると、貝がらは自分のマイホームでもあるんだよ。毎日しょ
って重いようだけど、おうちに帰る手間がいらぬから、それもいいんじゃないかな。」

なら原っ子「なるほど、そういうことですか。よくわかりました。」・・・おしまい！